

AMP Windowsコネクタ : ExPrevのWin10アップデートとの非互換性(1809)

内容

[概要](#)

[問題](#)

[回避策](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco AMP for Endpointsバージョン6.2.1で、Exploit Preventionが有効になっていること、Windows 10 October Update (バージョン1809)との非互換性、および利用可能な回避策について説明します。

著者 : Cisco Engineering、Tristan York

問題

不具合([CSCvn54432](#)) AMP for Endpoints 6.2.1 Exploit Prevention Engineでは、Microsoft Office 365 (CentennialおよびProPlus) (x86) on Windows 10 Redstone 5 / Windows 10 October Update (version 1809) (x64)と互換性4を使用します。[名前を付けて保存]をクリックします。ドキュメント上で、のアイコンの一部が正しくロードされません。この段階では、表面的な問題と見なされますが、他の潜在的な問題を示している可能性があります。シスコは、2018年12月6日にリリース予定のWindowsコネクタアップデートで修正を提供する予定です。

回避策

AMPのExploit Prevention Engineを無効にすると、Microsoftの強制ブロックより前にWindows 10 October Updateをインストールしたお客様に対して不具合がトリガーされなくなります。もう1つの回避策は、ファイルを手動で保存し、ファイルを別々に移動して名前を変更することです。

MicrosoftがWindows 10 Octoberアップデート (バージョン1809) の強制ブロックに影響を受けるお客様には、回避策はありません。

解決方法

Connectorバージョン6.2.1を実行しているユーザは、6.2.3ソフトウェアリリースにアップグレードする必要があります。

- 6.2.1 - 6.2.3以降へのアップグレード (再起動は不要)

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)
- [エンドポイント向けCisco AMP – テクニカルノート](#)
- [エンドポイント向けCisco AMP – リリースノート](#)